

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 三輪龍介 ◆編集責任者/担当 副会長 高塚康治 ◆制作・編集 第43期総務・広報委員会/委員長 木嶋康之

8月納涼例会開催

平成29年8月18日(金)皆生温泉東光園に於いて8月例会が開催された。今回の例会は会員拡大をメインテーマに置き、あわせて第37回全日本トライアスロン皆生大会の慰労の意を込めて納涼例会という形で開催された。担当は副会長、山内会員拡大担当理事をはじめとする会員拡大プロジェクトメンバーであった。



冒頭、三輪会長から総会・卒会式・懇親会、トライアスロン、県総会、水郷祭と行事の多かった7月の活動に対して会員を労う言葉があった。その後スローガンの一部「真摯な行動」の「真摯」について説明された。ピーター・ドラッカーの言葉を用い「リーダーは能力や知識がなくとも、真摯でなくてはならない。各々がその意味を考えてほしい。」と挨拶され、乾杯の音頭を取られた。

続いて、山内会員拡大担当理事より、会員拡大の活動意義について説明があった。会員数の推移データをもとに、減少傾向にある現状を確認し、「魅力ある未来の中央会を創っていくためには、これからは退会者を出さず、且つ、1年間に17名以上の入会を目指さなければならない」と力強く述べられた。



次に、全日本トライアスロン皆生大会についての振り返りが行われた。はじめに中央会実行委員会の濱田実行委員長、ボランティア部角田部長(VTR上映)、マラソン部高塚部長、AS部橋本部長が今年のトライアスロンについて振り返りをされた。続いて、選手として出場された秋里副会長、辻会員、上村会員、内田(和)会員よりボランティアや応援に対して感謝の言葉があり、現役会員の選手としての出場を呼びかける一面もあった。

次第に宴も盛況になるなか、各委員会の活動方針発表の時間となった。歌あり、寸劇あり、各委員会の個性が感じられる内容であった。また、会員拡大プロジェクトメンバーの紹介時には、各委員長が会員拡大目標人数を発表した。新たな入会者の獲得目



標人数を全員で共有し、達成を決心した。

最後は、竹ノ内直前会長の中締め挨拶。「高い目標に向かって走りその場所に到達すると全く違う景色が見える。目標を掲げるだけではなく達成してほしい。」と自身の体験談を基に、会員拡大目標達成にむけて熱い激励の言葉を述べられた。



本例会では、全員の力が結集しなければ成し遂げられない目標を共有、再認識することができた。会員同士の心をお互いに響き合わせ、期首に相応しい熱い夜となった。

(記事:友松)

8月例会を終えて



まずはお盆休み明けの参加しづらい中、出席していただきました会員の皆様に感謝申し上げます。今回の例会は「納涼例会」とし、第43期三輪会長年度を勢よく加速させる、トライアスロン事業の慰労、会員同士がひとつとなり会員拡大に繋げることを目的に開催しました。会員拡大タイムでは、会員数が減少している現状に危機感を持っていただきたいと思い、お話ししました。トライアスロンの振り返りでは濱田実行委員長をはじめ各部長、出場選手の皆さんの苦労や熱い思いを感じ取っていただけたと思います。委員長の所信表明では各委員会の特色を出した発表をしていただき、今後の活動に向けて勢いがついたのではないのでしょうか。

また今回の担当は、副会長及び会員拡大プロジェクトの担当者という少し変則なメンバーでしたが、「各委員長が汗かく姿を全会員に見てほしい」という私の考えから、各委員長を中心に進行・準備を行いました。会員の皆様、各委員長の姿を見て感じ取っていただけたでしょうか？

最後に例会開催にあたりご協力くださった東光園の皆様、会員の皆様、そして担当メンバーに改めて感謝いたします。本当にありがとうございました！

会員拡大担当理事 山内正樹
(㈲サンキュービルド 専務取締役)

県出向ごあいさつ



県出向理事 高井賢一

(有松友 統括マネージャー)

まずは、先日の県通常総会にて県出向理事にご承認いただきましてありがとうございます。今回は牧井県会長が掲げられました「道をひらく」のテーマの下に、自己成長・自社成長・縁を活かして縁に感謝していきたいと思います。そして会員の皆様に参加したくなる楽しい県事業を計画し、東部・中部・西部が団結できるような活動をしていきたいと思いますので、1年間よろしくお願いたします。



県出向理事 権田和志

(株式会社コーポレーション 営業部長)

この度、県出向理事を拝命致しました権田です。会員の皆さまに参加したいと思って頂ける県の事業を提供できることを目的に活動して参ります。具体的には事業を通じて、会員相互の親睦とビジネススキルの向上、新たなビジネスチャンスを創造する力を身に付けて頂きます。この私の想いを届ける為に、事業への参加のお声かけを精一杯して参ります。そして参加して良かったと、会員の皆さまに言ってもらえることを私のゴールとさせていただきます。1年間よろしくお願致します。



県出向理事 村田 博

(村田家株式会社 代表取締役)

皆様、こんにちは！第43期三輪会長より、県出向理事の職を拝命致しました村田博と申します。私自身は入会歴も浅く経験が少ないですが、私以外の県出向理事のメンバーは経験豊富な方々ばかりなので、とても力強く感じています。このメンバーで1年間、しっかりと県の事業を盛り上げて、皆様に参加して頂けますよう、全力で取り組んで参ります。皆様、1年間よろしくお願申し上げます。



県出向監事 上田康文

(うえだイベント株式会社 代表取締役)

昨年度、三輪会長に指名を受け、7月の県総会にて承認をしていただき、県出向監事を務めます上田康文です。今年度も大役を務めさせていただきますが、気負うことなく東部・中部・西部の全会員が1つになれるように事業を進めて参ります。1年間一所懸命に頑張る参りますのでよろしくお願いたします。

第43期 副委員長抱負

地域交流委員会

仲佐大志

(ベンリー米子皆生通店 店長)



第43期地域交流委員会副委員長を務めさせていただきます仲佐大志です。堀尾委員長が掲げられた委員会テーマ「強震美響」己を強く震わせ共に美しく響かせよう。という想いを胸に精一杯活動してまいります。私は前年度と同じくお地蔵さまの担当となりますので、昨年の経験を活かし盛り上げられるよう頑張ります！

人財・組織活性委員会

堀尾裕之

(米子信用金庫 総合企画部 総合企画課長)



第43期人財・組織活性委員会副委員長を務めさせていただきます堀尾裕之です。永井委員長が目指す委員会活動の実現に向け、しっかりサポートしていくと同時に、せっかくだいだいたこの機会に様々な事を学び、経験したいと考えております。わからないことばかりではありますが、1年間どうぞよろしくお願いたします。

生産性向上委員会

武田 希

(株式会社ベック 営業グループ 副部長)



生産性向上委員会、副委員長を務めさせていただきます武田希と申します。当会に入会させて頂き一年半が過ぎました。今までは一会員という立場でしたが、今年度は責任のある行動が求められます。円滑で活気のある委員会活動が行える様に西田委員長をしっかりとサポートして参りたいと思いますので、皆様宜しくお願い致します。

政治行政委員会

水野孝一

(ステッカー工房 代表)



こんにちは。43期政治行政委員会副委員長の水野孝一と申します。副委員長の抱負として、昭和初期のような一歩下がって亭主を見守る女房の様に委員長を支え、そして良き理解者として、さらに委員会の架け橋、影で支える柱になれるように頑張ります。43期政治行政委員会を委員会メンバーと共に盛り上げていきます。

総務・広報委員会

恵比木 健

(株式会社松本油店 課長代理)



総務・広報委員会の副委員長を務めます、恵比木健でございます。木嶋委員長をしっかりと補佐すること、また、委員会メンバーが思いつき活躍できるような雰囲気作りをすることを、渡邊副委員長と共に邁進してまいります。一年間、皆様には何かとお願する事が多くなると思いますが、何卒よろしくお願申し上げます。

総務・広報委員会

渡邊公平

(株式会社渡辺商店 主任)



総務・広報委員会副委員長の渡邊公平です。木嶋委員長が掲げたテーマ『MOTTO』～未来への一歩～のもと高塚副会長・木嶋委員長・恵比木副委員長・委員会メンバーと共に委員会を盛り上げていきたいと思っております。総務と広報の事でOBの皆様や現役会員の皆様にお世話になる事ばかりと思っておりますが、どうか一年間宜しくお願いします。



委員会訪問

～人財・組織活性委員会～

8月8日(火)米子コンベンションセンターにて開催された人財・組織活性委員会に訪問しました。委員会では、役員会報告の他、担当の新入会員オリエンテーションについて、多くの



質問やベテラン会員からの鋭い意見等が交わされていました。

委員会後半には、永井委員長が講師を務める勉強会が行われていました。委員会メンバーへの質問を交え

ながら、永井委員長から勉強会テーマについて丁寧に説明がなされ、最終的には担当例会への永井委員長の熱い思いが語られました。

全体を通して、非常に一体感のある委員会でした。

最後になりますが、取材のため訪れた私たちに対し、資料のご提供等ご配慮いただきありがとうございました。



(記事:住)



2017 松江水郷祭出店

7月29日・30日の2日間、地域交流委員会・生産性向上委員会の2委員会にて、松江水郷祭でテナント出店を行いました。出店内容は、からあげ、とり天、かき氷、ハイボール等の販売です。

初日は炎天下の中で順調に売り上げ、メインの花火が始まる前からからあげ・とり天を売り切ってしまう、追加の食材を段取りするまでになりました。ハプニングにも負けず、売上目標を初日にて達成した中央会メンバーの力に感激しました。特にお客様を呼び込んでくる諸先輩方の営業力は勉強になりました。



それぞれが自分に出来ることに徹して仕事をする姿に一体感を得ました。私は当日のみの参加でしたが、事前準備・企画運営に尽力された



方々には感謝しかありません。

最後になりましたが、応援に駆け付けて頂いた三輪会長、奥森専務理事、テナントにお越し頂いたOB会員・現役会員の皆様、お買い上げ頂いた皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

(生産性向上委員会 安達信彦 (株)平設計 設計課長)



境港地区中央会OB交流会

8月19日(土)、境港市のぶっこん亭にて、境港にゆかりのあるOB会員・現役会員約30名が集まり、境港地区中央会OB交流会が開催されました。

土井OB会長のご挨拶、足立統一郎OBの乾杯に始まり、続いて三輪会長の挨拶、新役員・新入会員紹介、山崎OBへのご卒会祝い品・花束贈呈が行われました。



境港ならではの和気あいあいとした雰囲気の中、OB・現役会員が親睦を深めました。中締めのご挨拶を浜田一哉OBに頂き、盛会のうち閉会となりました。

来年の境港地区中央会OB交流会にも、境港にゆかりのある皆様の多数のご参加をお待ちしております。

(記事:住)

LOVE LOVE

中央会

～中央会をふりかえって～

浜田 貴稔 (有)こめや産業 専務取締役)



平成26年1月に入会して以来、早いもので今期、卒会イヤーを迎えております。短い中央会生活を振り返るに、中央会には常にいろいろな分野でお手本となる人が居て、たくさんの学ぶべき物事があり、楽しい中にもしっかりとした主張・目的・意図をもって縦横が強く結びつき活

動を行う、何よりそれぞれの居場所がちゃんとある…そんな印象が強くなります。

会社組織で必要なことが多岐にわたる環境があるということは、そこらの高額な授業料を払って机に向かって勉強するセミナーなどとは比べ物にならないほどの体験ができ、仲間や知識が得られ、成長できる素晴らしい組織(中央会)だと思います。

どれだけの経験をして、どれだけの役割を担い、どれだけ失敗を重ねながら少しずつ前へ進み、どれだけの人と関わりを持つことができたかでその人の力量はいくらでも大きくなりうると思います。

卒会を前に、それぞれに限られた中央会生活をどのように過ごすかで、その後の価値が変わってくると感じています。「今」という時を無駄にすることなく、「生きた時間」として過ごしていただきたいと思います。

9月例会に向けて



第43期政治行政委員会では、委員会テーマを「堅守速攻経営を学ぶ～リスク管理で経営を変える～」としました。経営における守りの部分、その中でも労働に関わるリスクについての検証を行っています。9月例会では、労働に関わるリスクを抽出し、法的観点からの解決法、リスク管理手法を会員の皆様に伝えていきたいと思っています。法律やリスク管理と聞くと非常に難しそうな印象を受けますが、それを分かりやすく、どんな立場の人でも興味を持ってもらえるような内容にしていきたいと思っています。会員の皆様はもちろん、所属企業にとっても役に立つように、委員会メンバー全員でしっかりと学んでいきたいと思っています。

政治行政委員会 橋本真和委員長

(美保テクノス(株) 基礎技術事業所長)

第23回 オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆開催

8月20日(日)伯耆町総合スポーツ公園でジュニアトライアスロン大会が行われました。当日の天気は晴れ、そして気温30度以上の厳しい状況の中で、小学生の低・中・高学年と中学生がジュニアトライアスロンに挑戦しました。

県外からの参加者も含め会場内は多くの選手と応援の家族、

ボランティアで賑わい熱気にあふれていました。当会会員のお子さんも参加され、熱い戦いを繰り広げられていました。ゴールに到達したお子さんのやり遂げた表情がとても感動的でした。

ボランティアとして参加された皆さま、お疲れさまでした。

(記事:住)



響け中央会

第43期会長 三輪龍介

皆さん、こんにちは。

会長連載ということで1年間お付き合い頂ければ幸いです。ですのでよろしくお願ひ致します。

今期はスローガンを「響～真摯な行動～」と掲げましたが、この「真摯な行動」について。

私が「真摯」という言葉を強く意識したのは、ご存知の方も多いかと思いますがピーター・ドラッカーの書籍でした。リーダーは無知・無能・頼りなさなどは許されても真摯さの欠如だけは許されないとまで書かれていました。そこまで言い切られる「真摯」って何だ?と気になり、辞書などで調べてみると誠実・真面目・熱心・真剣・愚直・正直・高潔など色々な意味を含んでおり、とても考えさせられる言葉となりました。我が身を振り返ると甚だ頼りありませんが、少しでも近づけるよう行動に移していきませんか?

中央会交響曲

専務理事 奥森秀夫

今回、自分に影響を与えたものというテーマをいただき改めて考えましたが、やはり私の人としての根本をつくりあげているのは、幼少期から参加している、だんじり祭だと思います。人と人が協力した時の力強さであったり、長幼の序、後輩は先輩が守る、応援してくれている人への感謝など、ここで書けないたくさんのお話(笑)も覚えました。人として男としてどうあるべきかを教えてくれる大人、先輩、友達に出会えた大切な場所です。子供から大人まで命がけで祭に参加し、毎年行われるにもかかわらず祭が終わると涙を流し、笑い、知らない人が見れば異様な世界だと思います。今年も10月6, 7, 8日とだんじり祭に参加し、まだまだ足りない男磨きに精を出してきます。

訂正とお詫び

2017年会員手帳の9ページ、安藤会員の企業名に誤りがありました。

【誤】山陰フェンス術 ⇒ 【正】山陰フェンス工業術

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正いたします。また、お手数ですが手帳の修正をお願いします。

会員企業所属変更のお知らせ

生産性向上委員会・向井会員の所属が変更となりました。

(旧)株式会社 鳥取銀行 米子営業部

(新)株式会社 鳥取銀行 旗ヶ崎支店

住 所 〒683-0845 米子市旗ヶ崎1-1-1

TEL 34-4551 FAX 39-0166

役 職 支店長代理

お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

9月役員会報告

平成29年9月1日(金)米子市公会堂第6集会室にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

・8月例会報告の件

・9月例会開催の件

・10月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

9月例会案内

と き:平成29年9月15日(金) 19:00~21:00

と ころ:米子市文化ホール イベントホール

内 容:第1部 解説「中小企業における社会的課題と現状」

:第2部 グループディスカッション

「企業における身近な落とし穴」

担 当:第43期政治行政委員会

編集後記

納涼例会を終え、第43期三輪会長年度において1年間力強く駆け抜けていくために更なる団結力を深められたのではないだろうか。響き響かせ合う団結力をもって、総務・広報委員会という二刀流の委員会を乗りこえる活動とし、皆様に響く『ハンサム』を届けていきたいと思う。

(広報委員会 金山 勝)

お誕生おめでとう



金山 芙羽里ちゃん

(金山 勝会員 第1子)

平成29年7月1日生まれ

総務・広報委員会の金山で

す。平成29年7月1日に第1子

となる長女・芙羽里(ふわり)

が誕生しました。早産で生ま

れ最初は心配しましたが、今

となつては元気に成長してく

れて安心しています。赤ちゃ

んと共にパパとして、一緒に成長していきたいと思っておりますので、皆さまから子育てについてアドバイスを聞きながら子育てを実践していきたいと思ひます。